

### No.3 レブメイト入院管理モデル（病床数：約 700 床）

#### 1) 開始時・継続時

- ・病棟薬剤師は医師に対し開始までの手続き・レブメイト運用の流れを説明し、開始時・継続時の必要書類を相互に確認する。
- ・病棟薬剤師は開始時に患者情報を調剤室へ伝える。調剤室は患者の医療情報端末へ薬剤の登録を行う※。

#### 2) 調剤薬の病棟への薬剤供給

- ・病棟薬剤師は遵守状況確認票等の必要書類・レブメイトキットを医師から受け取り、調剤室へ搬送する。
- ・調剤室薬剤師は必要書類の記載内容に不備がないことを確認した後、HHT（ハンディ端末）のデータ送信など終了後に調剤する（レブラミド/ポマリストは電子施錠による保管、調剤後は管理表へ記載、薬剤はレブメイトキットに入れる）。
- ・病棟薬剤師が病棟へ搬送する（リーダー看護師へ手渡す）。
- ・看護師へ渡す際は、管理手順の遵守、服薬確認後の空シートを廃棄せずにレブメイトキットに入れて保管する旨を伝える。

#### 3) 薬剤の保管

- ・スタッフステーション内の鍵のかかる保管庫にレブメイトキットに入れて保管する（他の薬剤と区別する）。
- ・病棟看護師が管理する。

#### 4) 配薬時

- ・病棟薬剤師は患者に服薬指導を行い、治療説明シート（専用）または服用日誌への服薬記録の記載指導も行う。
- ・看護師は他の看護師とダブルチェックを行った後、患者へ本人確認をしてから配薬する（院内ルールに準ずる）。
- ・看護師はレブメイトキット内にある薬袋に残薬数を記載する。

#### 5) 服薬確認

- ・看護師が服薬を見届けて空の PTP シートを回収し、レブメイトキットに保管する。服薬状況を記録する。
- ・病棟薬剤師は看護師の記録及び治療説明シート（専用）または服用日誌で服薬確認をする。
- ・調剤室薬剤師は提出されたレブメイトキット内の空の PTP シートで服薬確認をする。

※ 患者の病院情報端末とは電子カルテの事です。レブラミド/ポマリストは患者限定薬としており、個々の患者の病院情報端末に該当薬の登録を行うことにより処方オーダー可能となるシステムを使用している。